

# インターネットサービス利用における注意事項

平成 25 年 9 月 20 日

個人情報流出対策本部

平成 25 年 9 月 6 日、インターネット上で本学に関連する個人情報流出事故が発覚しました。この様な事故の再発を防止するとともに、各人が適切、効果的かつ安全にインターネット上のサービスを利用する為の注意事項をまとめました。

## 1. 基本事項

インターネットサービスを利用する際、第一に金沢工業大学教職員である事の自覚と責任を認識しその上で以下の基本事項を遵守してください。

### ①法令遵守

金沢工業大学には教育研究機関としての重い責務があります。インターネットも一つの公的な社会であると考え、利用する上では社会人として法令を遵守した行動が必要であり、著作権肖像権、その他法令に関して十分留意する必要がある。また、本学規程についても遵守しなければいけない。

### ②守秘義務

ステークホルダー、学生、教職員に対して不利益が生じない様、職務上知り得た個人情報、機密事項に対して守秘義務がある事を認識しなくてはならない。

### ③人権尊重

多くの利用者が集まるインターネット上では、個人の多様性を理解し、異なる意見や考え方を認め合う事が必要です。誹謗中傷やプライバシーの侵害などが発生してはならない。

## 2. 学内情報の取り扱いに関して

職務上知り得た個人情報、機密事項など守秘義務のある情報をインターネットサービス上で取り扱ってはならない。これは、インターネット上の情報共有サービスでデータを共有・保存する事はもとよりソーシャルメディアやその他サービスでも同様である。

## 3. ソーシャルメディア利用について

Social Networking Service: SNS (Twitter、Facebook など)、ブログ、掲示板などに代表される情報発信型インターネットサービス (ソーシャルメディア) を利用する上で不要なトラブルを防ぐ為の注意事項を示します。

### ①ソーシャルメディアの理解

ソーシャルメディアは不特定多数の利用者が情報共有するメディアである事の認識が必要である。各メディアでの情報開示範囲や ID 設定、利用文化などはそれぞれ異なり一方的に機能等が変更される事もある。各メディアの特性を理解すべきである。

## ②情報の拡散性

メディア上で発信した情報を事後にコントロールする事は不可能、情報は勝手に拡散しそれらの削除は出来なくなる事を認識したうえで利用しないと、自分自身はては関係者まで不利益が生じる恐れがある。

## ③情報の真偽

情報の発信、また受け取る際にも教育研究機関に属する者として情報を正確に取り扱う事が必要である。間違った情報の発信はもとより、誤った情報を受ける事の可能性も十分考慮する必要がある。

## ④責任の所在

ソーシャルメディアで発信する情報は、発信者個人が責任を負う事となる。発信内容によっては「個人的な見解」である事を明記し、金沢工業大学の発表や見解ではない事を明確にする必要がある。

以上